



平成26年度一般会計決算を6年ぶりに認定

下水道事業特別会計決算は不認定、他の6特別会計決算は認定

平成27年度第3回定例会は、9月1日から10月1日までの31日間の会期で開催し、市長提出議案29件と委員会提出議案1件を議決しました。

一般質問では、23名の議員が5日間にわたり、市政運営に関して市長等と議論を交わしました。(2～6頁に掲載)

また、10月1日の本会議では各会派から一般会計決算議案に対する賛成・反対の討論が行われました。(6・7頁に掲載)



秋の実り (七重塔跡、西元町3-26)

平成26年度一般会計決算は6年ぶりに認定 下水道事業特別会計決算は不認定に

議会は決算議案の審査で、翌年度以降の健全な行財政運営に資するため、前年度の予算執行状況やその効果の評価を行います。

第3回定例会では、議案とともに監査委員の意見書、事務報告書等の資料が提出されました。

決算議案は、決算特別委員会(田中政義委員長、さの久美子副委員長を選出。議長と議員選出監査委員を除く22名で構成)を設置し、3日にわたり審査を行いました。

平成26年度決算は、一般会計では実質収支額11億5,450万円の黒字でしたが、前年度の実質収支額を差引いた単年度収支額は1億1,784万9千円の赤字となり、全会計総計の実質収支額も8億1,759万円の黒字でしたが、単年度収支額は8,891万6千円の赤字となりました。

委員会では、最初に一般会計決算の概要について資料に基づく担当の説明のあと、「枠配分方式をやめ部局積み上げ方式に改めた予算の評価と財政調整基金を積み増したこと、庁舎建設の基金との関係」「過去10年間の個人市民税の増減への見解」、臨時財政対策債に関連して「来年度、交付税不交付団体になった際の臨財償還の負担増への対応」「国へ地方の財源不足補償を求めるべき」との質疑があり、市長は「財政調整基金の積み増しのために金利が低い時期に臨財債を借りた。予定以上に基金の積み増しができ、今後も増が見込めることから、臨財債を借りずに予算編成していきたい」との表明がありました。

その他、「25年度と26年度で歳入額に10億円、予算額と決算額に5億円の差が生じた要因」「景気の動向と市民の経済状況」「市たばこ税減収傾向の確認と対策」「低金利地方債による市民負担軽減に配慮した財政運営」、第四次長期総合計画の達成状況に関連して「各事業に対する評価基準の曖昧性」「地域福祉活性化に関する諸項目の実績後退を踏まえた取組みの明確化」に関する質疑がありました。

歳入では、自転車駐車場使用料に関連して「各駐車場の収入と利用状況の明確化」「受益者負担の観点からの各駐車場の利用料設定」「アウトソーシングに関する計画と効果的な検証」「交通安全対策協議会の諮問事項とすることの適切性」の質疑があり、その他では「決算書でのふるさと納税のわかりにくさ」「スポーツ施設での予約システム導入」、史跡の駅のおもてなし

事業に関し「出納整理期間内に処理できなかったものを過年度収入で処理したことの違法性」を問われ、教育長から「昨年も監査委員から指摘を受け、不適切な事務執行がないよう研修を行ったが再度の指摘となった。改善に向け努力する」との表明がありました。

昨年に引き続き不適切な流用と分割発注

歳出では、人件費に関して「臨時職員の賃金を本来の事務事業以外から支出している」との監査委員からの指摘を受け、「法律で認められていない予算の款項をまたぐ流用では」との質疑があり、「款項をまたぐ流用ではないが別の事務事業で支出している。違法ではないが適切ではなかった」との認識が示されました。他にも予算の流用に関し「市の予算事務規則では予算補正せずに科目の新設ができるのは歳入のみ。予算補正せずに歳出の科目を新設した根拠」を問われ、「従前から行ってきた。今後は予算事務規則を改正し適切な事務執行を行う」との答弁がありました。また、流用が認められていない出納整理期間内の流用を3月中に行ったように見せる事務処理を指摘し、今後は職員の認識を深め、予算事務担当にも厳しくチェックする体制を構築するよう求め、市長からは「職員には法に基づき職務にあたること、過去からの事務処理を漫然と行わないことなどを改めて指示する」との表明がありました。また、前年度の監査委員意見書でも指摘があった分割発注に係る指摘が今年度もなされていたことから、再度厳しく指摘することとなりました。

その他、障害者センターの指定管理者に3年間で9,000万円の内部留保があったことに対し「指定管理の効果と、内部留保分返還」の質疑に対し、「今後、法人による市にとって有益な事業実施の上で、財務状況を見て協定の変更、精算も考えたい」との答弁がありました。

公平性を欠く下水道受益者負担を指摘

下水道事業特別会計決算では、長年納入されなかった受益者負担金を不納欠損にしたことに関して「一昨年の決算でも法的手段を執るよう指摘している。この間の対応を問う」との質疑に対し、法的手段を執らぬまま時効を迎えてしまったことが判明しました。

委員会一般会計・下水道特別会計を不認定

委員会では、以上の質疑を経て採決を行い、一般会計決算は賛成少数で「不認定」に、国分寺駅北口地区第一種市街地再開発特別会計決算と国民健康保険特別会計決算は賛成多数で「認定」に、下水道事業特別会計決算は賛成者なし

で「不認定」に、その他4特別会計決算は全員賛成で「認定」と決しました。

本会議一般会計は可否同数、議長は認定と裁決

本会議では、一般会計決算の採決に際し「枠配分方式から部局積み上げ予算としたことで改善された点が多い。実質収支8億円の黒字、公債費比率の縮減など財政状況を改善し、基金を大幅に積み増したことを評価する」「街路灯LED化、小学校体育館天井脱落対策、婦人科検診等の制度改正、市制施行50周年事業の成功を評価する」といった賛成討論があり、「障害者センター指定管理者に多額の内部留保があった。指定管理者に求める事業の再検討、適切な指定管理料の積算を求める」「監査委員から繰り返し指摘を受けながら改善されず、不適切な事務執行が行われている」「大型開発優先のため市民生活を支える施策を縮小・廃止し、市民に負担を押し付けている」といった反対討論がありました。採決では、一般会計決算は可否同数となり議長裁決の結果「認定」に、その他は委員会と同様の結果となりました。(一般会計決算議案の討論は6・7頁、賛否は8頁に掲載)

防犯カメラの設置及び運用に関する条例を全員賛成で可決

公共の場所の防犯カメラの設置及び運用に関する事項を定める条例提案がありました。

総務委員会では、「映像データの開示請求に対する適正な対応」を問われ、「国分寺市個人情報保護条例に基づき、適正に対応を行いつつ、市以外の設置者にも個人情報保護条例に基づく手続きを求める」との答弁がありました。また「通学路の防犯カメラ設置場所の決め方と常時撮影対象となる住民への意向確認」「市以外の設置者が目的外利用、外部提供を行った際の市への速やかな報告」「映像データの妥当な保管期間の設定」に関する確認と、「地域住民へのカメラ設置に係る事前周知の必要性と運用上での明文化」「防犯カメラ設置に際し運用基準を定めることとなる地縁団体の範囲」を問われ、「不明瞭な点はさらに検討を行い、逐条解説に明記し、市民に周知する」との答弁がありました。さらに「市が条例に違反した場合」を問われ、「個人情報保護審議会より市長に対して建議、勧告がなされる」との答弁がありました。

本会議では、「犯罪捜査への映像データ提供手続き」「東京都通学路防犯設備整備補助金要綱にある遵守事項との整合性」等の質疑がなされ、次ページに続く

れ、採決にあたり「犯罪予防、個人情報保護遵守の担保を今後条例・規則でより明確にすること、地域福祉推進、防犯まちづくり活動支援等を求める」との賛成討論があり、採決の結果、委員会・本会議とも全員賛成で可決しました。

マイナンバー関連条例を賛成多数で可決

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる「マイナンバー法」施行に伴い、特定個人情報の適正な取扱い等を定める条例が提案されました。総務委員会では、「特定個人情報を目的外利用した際に本人通知を行わない事例」を問われ、

「個人情報保護審議会の意見を聞いて個別に判断する」との答弁があり、さらに、「罰則規定の対象範囲」を問われ、「職務上知り得る立場にいる者を広く対象とする」との答弁がありました。また「特定個人情報開示請求に係る対応」「各自治体との情報連携を行う窓口となる中間サーバーに関する管理責任の範囲」「個人番号カード改ざんの可能性と現時点のセキュリティ対策」に関する質疑があり、さらに「自己情報開示請求における任意代理人への対応、対策」を問われ、「限定し、厳格に対応する予定」との答弁がありました。

本会議では、「特定個人情報の提供と個人情報保護条例上の収集の制限との整合性」「個人

情報漏えいの可能性がある本制度を運用する市の責務への考え」に関する質疑がありました。本会議、委員会とも、採決にあたり「本制度は、大規模な情報流出による事故や犯罪のリスクが高まることが懸念され、さらには制度導入に係る国の補助は約38%で、市財政を圧迫する」との反対討論と、「マイナンバー制度は、国民の利便性向上等が期待される。円滑な施行のため、丁寧な周知に努め、より一層厳格な情報管理を行うことを強く求める」との賛成討論がなされ、採決の結果、賛成多数で可決しました。

委員会提案で市議会会議規則を改正 男女共同参画推進のため、本会議等欠席理由に「出産」を追加する議案を可決しました。

市政をう 平成27年 第3回定例会一般質問 質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

人口減少待ったなし、住み良いまちへ



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

●人口減少問題について
 (1) 出生率向上のとりくみについて 本橋) 市の合計特殊出生率が1.42、多摩26市の中でも低い。向上の取り組みをする必要がある。市) 人口ビジョンで示している通り課題として認識している。
 (2) 子育て支援について 本橋) 出生率向上のために、子育て支援の充実が必要であると考え。市) 子ども・子育て支援新制度がスタートし、待機児童の解消も含め産前から産後、学童の充実と総合的に今後も充実させたい。
 (3) 若年層定住化について 本橋) 人口減少を考える上で多世代同居の推進や近居に関する住宅政策を考える必要があると考えるが。市) 今後市の戦略の中で考えていきたい。

●西国分寺駅北口について
 本橋) 西国分寺駅北口周辺で地区まちづくり協議会が設立され、市としても放置しておく立場ではないと思うがどうか。市) 都市機能の向上と周辺環境の調和したまちづくりを進める。

●スポーツ振興について
 (1) スポーツ施設のあり方について 本橋) 公園などの市内既存施設の有効利用をしっかりと考え球技などができ、生涯スポーツができる環境を整えていただきたい。市) 今後、しっかりと検討していく課題だと認識している。
 ●まちづくり条例について 本橋) 条例が施行され10年が経過した。ここで公開空地など様々な点で理想と現実のズレが生じている。市) 課題を整理していきたい。

常時の備えを心掛け 災害被害を最小限に！



自民党国分寺市議団 田中 政義

1. 災害時ライフラインの整備について 問) 震災や他の災害時のライフラインの整備については、水の確保が何よりも重要であると考え。他市に於いて水道水直結の応急給水槽の整備をしていると聞くがどのようなものか。

総務部長) 東京都水道局による事業である。半径2キロの内側に給水所が無い地域に設置されるものであり、地面の下に給水槽を埋設し、水道管と繋げ循環させることにより常に新鮮な飲料水を確保することが出来るものである。田中) 国分寺市に於いても、もしも大震災等の災害が発生した際には大変有効なものになると考える。東京都の事業ではあるが、是非市民の安心・安全の為に考えて頂きたい。

2. ゲリラ豪雨・竜巻対策について 問) 近年多発しているゲリラ豪雨や竜巻について国分寺市ではどのような対策をしているか。総務部長) 大雨については気象庁による警報が発令された時に指定された部署の職員が参集して情報連絡体制を敷き、消防署、消防団、東京都等々と連絡を図りながら水防活動を実施する。また都市建設部を中心に各課は市内のパトロールを行い活動に当たっている状況である。竜巻対策についてはホームページで取るべき行動等を記載しているが綿密に対策を練り広く市民の皆様に周知していく必要があると考える。田中) 災害が発生する前に出来得る備えをすることが市民を守ることに繋がると考える。その他) 市役所自衛消防隊について、消防署用地の進捗状況について、他4件の質問をした。

家族支援の視点重視で 福祉施策の充実求める



公明党 さの 久美子

1. 平和教育について 戦後70年。平和への思いを継承するため、ピースメッセンジャーの広島での体験報告をより拡げる施策が必要。市) 作文、詩集を増刷し、学校図書館に配架したい。児童館での語り部講座で体験を語る取り組みも試行する。さの) 家庭でできる平和教育の取り組みへ働きかけを求める。教育長) 親子で一緒に学ぶという機会は重要。あらゆる方法を使い、進めていきたい。

2. ペアレントメンターについて ペアレントメンター導入について進捗状況は。市) 必要な制度であると認識、まず職員が研修に参加、制度運用の基盤作りを進めていきたい。
 3. 安全・安心のまちづくりについて (1)生活安全・安心メールをさらに活用し、多くの情報提供を可能にするべき。市) 情報活用を一本化するには全庁的検討が必要、調査する。(2)災害時要援護者対策のため、最少の時間で多

くの方の安否確認ができる「黄色いハンカチ作戦」を取入れるべき。市) 支援者の負担を軽くし、効率的に行う有効な手段。検討したい。
 (3)災害時の自助を推進するため、障がい者用マニュアルを作成すべき。市) 早期に策定したい。
 4. 認知症対策について ●行方不明者を出さない為に、鉄道・バス事業者等に認知症サポーター養成講座受講推進を。市) 公共交通機関も視野に入れ検討する。 ●キャラバンメイト養成は、まず市職員から取り組みを。市) 今年市職員から受講したい。 ●家族支援のため家族教室プログラム導入を！

稲荷坂通りへの 道路管理強化を！！



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

「戦争の記憶」伝承を！！ だて) 戦後70年経過し、戦争を実体験された方が高齢化している。当事者の想い、戦争の惨禍、教訓を次の世代に伝えていくため、早急に取り組みを行うべきであると考えがどうか？ 答) 後継者問題は課題である。他市も取り組みを始めており、国分寺市も検討していきたい。

町内会・自治会について だて) 自治会加入率の向上にむけ、市や各自治会のホームページ整備を進めていくことが必要であると考えが、対策、見解を求める。 答) 市民活動センターホームページの改訂を行う予定であり、自治会のページの内容充実にも努める。各自治会ホームページ作成には都の助成金も使えるので、積極的に告知していく。 だて) 自治会に対する市からの要請、仕事が膨大であり、役員の高齢化、硬直化が進む中、負担が大きいとの声を聞くが、市はどう考えるか。 答) 同様の声は認識している。仕事を上手く分担、サポートできるような仕組みを検討したい。

道路のひび割れ等、管理について だて) 高木町から国立駅に抜ける稲荷坂通りは非常に狭い道路ながら、バスが平日300回近く往来する。そのため、沿道住民はひび割れ等の道路状態に起因した振動や騒音に朝から晩まで悩まされている。市の対応を求める。 答) 簡易な補修は随時行っている。また、近いうちには、舗装の全面打換えを検討している。 だて) 他の道路も含めできるだけ細やかかつ、迅速な対応を強く要請する。

平和、保育園に関する 市民の声を訴える



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

◆戦後70年 非戦の誓いを新たに

星) 先の大戦で、軍人・軍属230万人、民間人80万人がお亡くなりになった。ところが多くの場合、空襲犠牲者については、名前や人数の調査さえ行われていないのが現実。そうしたなかで、昭和31年に当時の国分寺町は慰霊碑建設協議会と共に、空襲でお亡くなりになった民間人を含めて犠牲となった町民の名前を石碑に刻印し、慰霊をしている。それが、西元町の市立国分寺公園にある慰霊碑。「この碑の存在を広めてほしい」との要望を市民からお受けした。二度と戦争を繰り返さないために、平和祈念式などで、意義を含めてこの碑を市民に広めるべき。→答弁) この慰霊碑について8月15日号の『市報』でも触れている。体験談を含めて戦争の記録を残していきたい。

◆保育園の設備メンテナンスの強化を

星) 市立こくぶんじ保育園の園内が「暑いのではないか」との市民の声を伺ったが、どうなのか→答弁) 定期点検を行っているものの、8月に一部クラスのエアコンが故障。すぐに業者に連絡したが、時間を要しているため、ハイパワー冷風機のレンタルや他の部屋の使用といった対策をとっている。

星) 幼い命を預かる保育園は、言うまでもなく職員の責任は重く、ましてやエアコンの故障は新たな対応・負担を強いてしまう。園の開設から15年となるため、子どもたちの健康と安全を守るために、設備面のよりきめ細かなメンテナンスをお願いしたい。

都立公園は バードゴルフ等で活用を!!



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼高齢者施設のトイレ洋式化と手すり設置を

【問】生きがいセンター等高齢者施設はバリアフリーやユニバーサルデザインの積極推進をお願いする。

【答】トイレ洋式化に合わせ、高齢者の身体に負担の少ない施設とすべく、手すり設置も対応する。

▼職員の人材育成と業務改善提案制度の活用を

【問】業務改善意識があり、向上意欲のある人材を掘り起こし、明日の国分寺市を担う管理職に積極登用すべし。また、偏りなく広く職員に周知し昇任意欲を刺激されたい。

【答】信賞必罰を明確にし人材育成していく。

▼市民体育大会・文化祭について

【問】種目も内容も拡大方向にあり、補助金(委託金)増額と更なる会場拡充に努力されたい。

【答】オリンピックに向け機運の高まりは認識しており、金銭面のみならず施設についても検討を進めていく。

▼都立武蔵国分寺公園の利活用について

【問】市内最大規模の公園であり、国分寺まつりや史跡駅伝以外で例えばターゲットバードゴルフのように環境破壊が無く安全性の高い競技での活用は出来ないか。

【答】東京都所管の施設であり現状市民団体の利用に供した実績無いが、市民にとって有用という認識は持っている。今後、実施に向けた相談等に対応して貰えるよう働きかけていく。

【吉田】活気のある街づくりに向け大きく前進する案件と考える。心より期待している。

西国分寺駅東口改札は まちづくりの観点で!



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 西国分寺駅東口について

(1)東口改札はなぜできなかったのか?→当初の計画には位置づけられていたが、その後駅舎と南北自由通路の費用を積算したところ23億円となり、JRが市全額負担の請願駅扱いと判断し現在に至っている。○市の考え方は?→開設する方向で取り組んでいるが、財政負担が一番の課題。都市計画変更も視野に入れながらさまざまな方策を考えJRと今後とも精力的に協議を進めていきたい。○喫緊の課題として武蔵野線のガード下の道路の安全対策に取り組んでほしい。→検討中。

(2)暫定自転車駐車場について有料にしないのか?→民間の力を活用できないか検討中。

(3)長距離バスはいつから運行するのか?→来月から大阪梅田行と仙台行が一日1便、午後10時に出発して朝6時に到着する。

(4)武蔵国分寺公園東側の道路の公園側に昼夜違法駐車している。パトロールの強化と道路標識の追加をお願いしたい。→警察と相談する。

2. 西国分寺駅南口について

(1)駅前植栽の根元のつつじと中央ロータリーのプランターが枯れている。→適切に管理する。プランターの代わりに車止めを設置する。

(2)タクシー乗り場の20cmの段差について?→平成28年度にスロープを設置する。

3. 嘱託職員について=正規職員の半数の嘱託職員の給与は正規職員の37%。役割分担の明確化と昇給を含む給料アップをしてほしい。→今年度中に抜本的な見直しをする。

福祉施策の充実! 安心安全の強い基盤を!



公明党 なおの 克

●介護支援ボランティア制度について

問) 長年提案を続けている介護支援ボランティア制度だが、いつまでに制度設計を行うのか?福祉保健部長) 市が主導して制度設計をし、次年度より実施できるように進めて参りたい。

●障がい者支援について

問) 障害者センターの短期入所において、性差による利用制限があり、空き部屋があるのに、利用できない。利用制限を見直すべきだ。また医療的ケアについて、宿直看護師の配置等、受入れ環境を整備し、バリアフリーが必要な方や重複障がい者等をより優先的に受入れる基幹施設として、他の事業者との役割分担をすべきだ。福祉保健部長) 民間事業者との役割分担を明確にし、公設としての役割を再度確認、強化する。

●市民サービス向上について

問) 障がい者に寄り添ったサービスを進めるために手話通訳の職員の配置をして頂きたい。

福祉保健部長) 実施に向けて準備して参りたい。

●公民館について

問) 新しい市民ニーズに応える講座が求められている。市民全体の声を反映する体制づくりを。部長) 意見を多く聞くために、方法を考えたい。

●交通安全対策について

問) 自転車接触事故が増えている。駐輪施設、通学路等、自転車専用ミラーを設置すべきだ。都市建設部長) 利用者の視点からも措置が必要。

問) 自転車マナー対策について、実質的に効果があがる形を模索して頂きたい。

都市建設部長) 今後警察等とも調整を進める。

子どもの変化をキャッチし いじめの根絶を



公明党 高橋 りょう子

(1) 教育環境の整備

①第6小学校トイレ洋式化改修工事について

問) 入札不調で今年度は断念と聞く。楽しみにしていた子ども達との約束。早期実現を求む。

市) 子ども達には申し訳なかった。来年度の夏休みには、確実に工事完了できるよう努めたい。

②携帯電話「いじめチェックアプリ」について

問) 大人の想像を超える複雑ないじめ。解決には保護者や大人の気付き早期発見が最大。保護者にも有効なアプリ導入を本市でも検討を。

教育長) 状況を良く精査し、活用を考えたい。

③子どもの学習支援について

問) 経済的理由や不登校、学力面に課題を抱える生徒の支援に無料塾が期待と。更なる拡大を。

市) 子ども達が定期的に通うには、自宅付近が望ましく地域性等考慮し丁寧に進め拡大したい。

(2) 市民の健康施策

①乳幼児の予防接種について

問) 赤ちゃんの予防接種は種類も多く接種回数や間隔など複雑。接種時期を知らせ接種漏れ防止に効果的な小児ワクチンアプリの導入を。

市) 確実な接種が期待でき、導入を検討したい。

(3) 福祉施策 ぶんバス北町ルート

問) 7月31日～本格運行開始。バス停増に期待。

市) 8月21日から新たなバス停を増設。今後ルート変更等住民要望に応え利便性向上に努める。

その他の質問) ①若年層に健康診断を②校内外の不審者対策③高齢者肺炎球菌ワクチン接種を市外医療機関でも接種可能に④古代米国分寺産の「赤米」収穫に力を入れ、市内・外にPRを。

閉会中の委員会等

委員会とはなたでも傍聴できます

第3回定例会終了後、平成27年第4回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

10月16日(金) 9時30分より
議会運営委員会

10月26日(月) 9時30分より
総務委員会

10月30日(金) 13時30分より
厚生委員会

11月2日(月) 13時より
国分寺駅周辺整備
特別委員会

11月5日(木) 13時より
文教子ども委員会

11月6日(金) 9時30分より
建設環境委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で開催します。

未来を見据え、 市民の声をかたちに！



自民党国分寺市議団 尾作 義明

●**防災井戸の設置について** 被災時の水の確保は大切。防災井戸の無い地域での進捗は？（部長）南町はマンション建設と共に進行中。東元町では候補地を挙げ早急に個所の選定にあたりたい。●**史跡の整備について** 整備に協力してきた地域の意思に反し、大木を伐採する話を聞いている。（部長）史跡武蔵国分寺跡僧寺地区整備計画を基に整備を進めている。今後、地域との協議の上、決定したい。●**子どもの予防接種について** 予防接種の時期は難しくアプリの活用は有効。調査、研究を進め接種率を高めるためにも様々な環境を想定し進めて欲しい。（部長）様々な事例を参考にして便利なものをつくりたい。●**大人の予防接種について** 公費の予防接種はもちろん、自己負担でも健康面、費用対効果も大きい。正確な情報を積極的に広めるべき。（部長）疾病予防、医療費の適正化等の期待もできる。自ら守るとの考えから伝えるのは大事。医師会と相談し、周知したい。●**自動車駐車場の入場待ちの混雑解消について** 国分寺駅周辺で駐車場待ち、送迎の混雑がある。認識と対応は如何か？（部長）認識している。指導をしたい。●**商店街の整備について** 国分寺駅周辺の新規の駐車場の入場整備、道路整備、電線地中化、LED化、カラー舗装など総合的に地域の整備を進めるべき。（部長）交通の要衝としての駅ビル開発と共に、周辺整備に取り組みたい。●**防犯カメラについて** 来年度に防犯カメラを計画している地域も多い。通学路のカメラの場所が決まり次第伝えて欲しい。

生活保護費支給状況について



自民党国分寺市議団 新海 栄一

新海) 市民1人当たりの人件費は八王子市より8,000円高く、同規模の昭島市と比較しても3,500円高い、この状況をどのように考えているのか。総務部長) 現在、都表に準拠して給与を支払っているが、今後詳細に分析して定数管理を適切に行いながら総人件費の抑制を図っていきたい。新海) 国分寺駅北口正面からの通路が無くなり高齢者、障害者の方はバス停から遠くなってしまった。バス停を正面に移設できないか。再開発担当部長) 整備の進捗によってタクシー乗り場、バス停も順次移設する可能性がある。その際に交通管理者と協議していきたい。新海) 仮設交番が建設業者の倒産により骨組みだけの状態で放置されている。今後の進捗は。再開発担当部長) 8月に継続して工事を行う業者が決まりました。来年の1月完成予定です。新海) 生活保護費は1世帯当たり20万4,700円に達しており、高い扶助費が支給されている。二重取りや診断書の偽造などは無いか。福祉保健部長) 二重取りは過去にありましたが、診断書の偽造は無いと認識しています。新海) 様々なケースの申請があるが、今後も慎重な審査を行って、本当に生活保護が必要な世帯に適切に扶助費が渡るようお願いしたい。

新海) 国分寺駅、西国分寺駅の発車チャイムを信時潔氏の作曲した「電車ごっこ」と「一番星見つけた」にする交渉を続けてきた。現状は。副市長) 平成21年に新海議員と共に八王子支社に依頼文を持参し、その後交渉を進め課題について一定整理ができたので速やかに対応したい。

市民サービス向上へ！



自民党国分寺市議団 尾澤 しゅう

【選挙（子連れ投票）】

尾澤：これまでは原則、小学生以上の子を連れて投票所へは入場できません。投票所への「子連れ」解禁に向けて課題（代筆禁止や投票の秘密等）の整理と普及啓発を行うべき。

答弁：周知徹底して参ります。

【小学校のスプリンクラー】

尾澤：二小、九小、十小の校庭には給水栓接続式のスプリンクラーがあるが、現在はサッカーや野球チーム等の団体に使用を許可していない。そこでチームや団体の事前登録を前提として、スプリンクラー使用に関するマニュアル作成、使用団体へのレクチャーをおこなうことで使用を認めるべき。

答弁：既にマニュアルを作成しており、今後学校と協議をして検討していきます。

【子育て支援（公民館保育室活動）】

尾澤：利用者からは回数を増やして欲しいとの声がある。限られた財源の中で「幼い子のいる親の教室」や保育付きの公民館講座の回数を増やすには有料化も含めて考えるべき。

答弁：今後、様々な視点から研究していく。

【国立駅周辺まちづくりについて】

尾澤：国分寺市民の利用率が高く生活圏でもある国立駅周辺のまちづくり（国立駅北口のロータリー接続道路の一方通行化やnonowa第二期開店等）は国分寺市民に影響が多大。国立市行政やJRにもっと国分寺市行政はコミットし、国分寺市民にはもっと情報提供すべき。

答弁：他所と調整し、市民へは情報提供する。

多くの市民とともに 平和施策をすすめよう！



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■**平和施策**■岩永(仮) 国分寺市総合ビジョンでは平和施策を柱の一つに据え、平和基金の設立等多くの市民と共に平和事業の推進を。答受けとめさせていただく。岩永戦争体験の継承が難しくなるからこそ、被爆地に足を運び、原爆遺産に触れる平和学習が重要。中学校の修学旅行に広島を。答教育的価値はあるが現実的には難しい。岩永戦後70年企画「国分寺の戦争記録展」は、戦時中の市内や暮らしの様子が子どもにも分かりやすく好評だった。他課の展示とも連携し、継続的な実施を。答検討する。岩永語り部講話を映像記録に。答実施にむけ調整する。■**情報公開**■岩永市民の知る権利の保障、参加を進めるために、HPの活用や、オープナーの機能向上により情報提供の充実を。答検討する。■**障がい者施策**■岩永障害者差別解消法施行にむけ、障がい当事者や市民の意向を反映した条例策定や、差別解消支援地域協議会設立につな

がる取り組みを。また、地域福祉推進協議会等を活用し、障がいのある人もない人も共に過ごし交流する場や機会を。答市内連携を図り検討していく。岩永子ども・保護者への特別支援教育や障がい理解を進める取り組み、啓発を。答教育7DAYSの他、関係部署とも連携して進める。■**マイナンバー制度**■岩永制度開始前に、利用範囲を預金口座や医療分野に広げる法改正がなされ、情報漏えいや民間企業の体制整備、費用対効果等を危惧する声が高まっている。メリットだけでなく、注意点も含めた市民への丁寧な説明の場を持つこと、職員研修の徹底を求めた。

地域福祉のまちづくりは お互いの理解から！



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

■**高齢者施策～介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けて**（問）介護予防事業の構築は、参加者のデータを分析し、効果を検証した上で必要な事業の整備を（答）二次予防事業参加者の成果はデータ化していない。今後、検証の工夫をしたい（問）日常生活の中で、それぞれが持っている力を高めていく自立支援のケアが重要。支援の担い手の理解とスキルアップを！（答）自立支援と生活支援のバランスが大事。研修を充実させる（問）多様な担い手の登場を促し、地域づくりの視点を持って高齢者施策を実施する大転換の時だからこそ、新たな事業の周知は細やかに進めるべき（答）市民説明会を4カ所で予定。出前講座も検討したい■**介護者支援について**（問）孤独になりがちな全ての家族介護者をトータルに支援していく基本となる「介護者憲章」をつくり、総合的に施策に取り組む構想を（答）研究していきたい■**地域福祉について**（問）「地域福祉推進協議会」を設置予定だが、市全体が対象だ。地域には様々な個性を持ち、多様な課題を抱えた人たちが暮らしている。顔の見えるエリアで、お互いが知り合い理解し合える取り組みが重要（答）地域の重い課題は見えにくい。細やかな地域単位での設置も検討する■**国分寺まつり**（問）昨年に続き、政治的な意味合いを持つとの曖昧な理由で出店できない団体がある。実行委員会に団体への説明を促すと共に市民同士で解決できるよう尽力を（答）実行委員会に伝える■**他に、子どもや生活困窮者の食を地域で支える取り組み等提案。**

市民目線・本位の 市政経営を求め



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

●**育休等に伴う保育所入所継続について**丸山) 現在の保育所運用では第二子以降の妊娠・出産の際、上の子供が入所済か否かで、その上の子の退所時期に1年強もの開きがある。女性の社会進出後押し、環境整備を市が方針として掲げる以上、早急に是正すべきである。子ども家庭部長) 検討を進めて参りたい。●**交通(安全表記、ぶんバス)について**丸山) 私道・狭隘道路の多い当市では注意喚起の看板等は事故防止のため重要な役割を担うが、デザイン・表現等は統一されているか。次ページに続く

都市建設部長) 現状そのようになっていない。
丸山) 刷り込み効果を発揮するためにもデザインは統一すべきである。検討・推進を願う。
丸山) ぶんバス/日吉町コースについて、コース距離が長すぎ且つ一方方向のため利用出来ない市民の方々がいる。課題として認識しているか。都市建設部長) 認識している。

丸山) 実際に使われなければ本来の目的は達成出来たとは言えない。運行本数を調整し、両方向で運行させる等、市民本位での改善を求む。

●職員の懲罰規定について

丸山) 職員の不祥事・処分が相次いでいるが、懲罰規定が甘すぎる。常習賭博のように懲役刑を科されるものであっても、市の基準では停職止まりとなっている。基準を法的観点また民間基準等から検討し直すべきである。

総務部長) 国・都も基準の改正を行っており、いま一度基準について見直して参りたい。

その他) 職員の外部研修、広報について質問。

防災減災、ぶんバス、行財政の経営の強化を



公明党 木島 たかし

1・災害に強い安全に暮らせるまちづくりを
問) 国分寺駅南側地域はインフラ基盤の整備が遅れ、防災の観点からも整備の必要性が高い

①国分寺街道を中心とした3・4・11号線、②泉町1丁目～南町3丁目交差点までの坂道区間の3・4・3号線、③長谷戸橋～東元町1丁目～小金井市境までの3・4・4号線、④野川整備までの間の現在の橋の安全対策、⑤崖線により坂道が多いことから福祉の観点で手すりの設置、以上の改善を。

答) 一部は検討課題だが改善に向け取り組む。

2・ぶんバス「万葉・けやきルート」は来年度試験走行実現のため、課題克服に最大の努力を
問) バス停確保を①国分寺駅南口かその近辺の本町・南町地域センター②万葉(南側)とけやき(北側)を結ぶ花沢通り沿い(本町4丁目)

答) ①南口のロータリーは難しいが、駅至近の場所に設置の方向で検討中だ。②検討する。

問) 課題の回転場所確保は?

答) 万葉ルートに関しては史跡地域でもあることから、文化庁と都教育委員会と交渉を行い、市道幹1号線(四中前通り)沿いに回転場所確保に向けて理解を得つつある。けやきルート側はまだ特定に至っていない。

3・安定した市政・財政の経営を実現するため
問) 民間や近隣市との連携(公民連携)をこれまで以上に深め、市民サービスの維持向上を。市長) 重要性を認識している。推進していく。
※他に、◎市の史跡の日本遺産認定に向けて、広報等の強化による、まちの魅力発信。◎公会計改革で「財政の見える化」を質問しました。

ハラスメント防止指針 規定等早急に策定を!



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

◆非正規雇用(嘱託、臨時)の職場環境整備
皆) 嘱託は4回更新。再度の試験により新たな職場への配属が原則だが6年目も同じ職場に配属されている事実疑問の声あり。改善策は?
総務部長) 現在3名いる。次年度について明言

は避けるが相当の理由がない限り配置転換する。皆) 「〇〇ちゃん」と仕事中に呼び合う場面に市民より疑問視する声。総務部長) 勤務中は別で職務に専念すべき。上司のマネジメント大事。
◆ハラスメント…いじめ、嫌がらせ等(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)のない職場作りを皆) 市役所でハラスメントの実態はあるか?

総務部長) 苦情処理委員会等の開催はない。

皆) 市の「セクシャルハラスメント苦情処理規定」に基づくこと無くなる。しかし、業務中に上司が部下を怒鳴る等のパワハラを市民が目撃している。ハラスメント対策として、加害者への対応策を。指針、規定等早急に策定しハラスメント防止の研修もこれまで以上に実施を。総務部長) 今年度中に規定等策定したい。ハラスメント研修を全職員が受講するよう取組む。

◆生きることを支える自殺対策、生活困窮者自立支援制度の周知と拡充、充実形骸化せぬよう。

◆中二の歯科検診が春秋と2回実施予定。市では3歳児の虫歯5本以上が2.2%で全体の40%と深刻な実態。今回の取り組みは重要で評価する。

◆街路樹の安全性、景観の面から適切な整備を皆) 標識が隠れる位の植栽や個人的に植栽をしたと思える不適切な街路樹もある。対応を求む。都市建設) 指導改善する。都にも改善要請する。

市民と共につくりあげる 教育行政を



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆環境施策・石けん秋本H28年度グリーン購入ガイドライン対象品目への石けん追加の検討状況について、その後の進捗は。石けんを新たに追加する方向で庁内調整を進めている。市内各施設の石けん・洗剤の使用状況調査を実施、石けんの情報を提供して注意喚起のポスターを掲示した。指定管理者制度の運用指針においても、ガイドラインに基づく調達を遵守・促進する旨、周知を進める。秋本啓発活動の継続を願う。
◆総合教育会議と教育ビジョン秋本教育委員会と市長部局が共に議論できる総合教育会議の意義に期待する。市の開かれた教育行政に向け、活性化を望む。法改正の趣旨に基づき、教育委員会の領域を侵さず、意志疎通を図り連携を密にしていく。秋本教育ビジョンの実効性を重視し、会議開催を形骸化せず、市の教育についての議論を充実すべき。傍聴し易い工夫や周知等、様々な市民参加について積極的な検討を。議事録公開や広報にて総合教育会議の状況は広くお伝えする。会議の進捗状況をみて、開催の工夫は今後の課題とする。
◆家庭的保育事業秋本新制度により家庭福祉員が市認可に移行。連携施設や代替保育の確保等、早急に整備を。また市の基幹型保育所システムを有効活用し、園同士が相互連携を深め、市全体として保育の質の向上を求める。基幹型保育施設との連携の中で早めの指定を進めたい。市保育大会や保育士研修、看護師や栄養士の連絡会等を通じ、情報共有を図っていく。
◆その他 ファミリーサポートセンター事業について質問。

学校特別教室の エアコン設置を前向きに検討



日本共産党国分寺市議団 中山 ごう

《安心して利用できる介護保険に》

問) 介護利用料が2割負担へと倍になったことでサービス利用控えが起きていると聞いている。実態調査をするべき。

部長) 現時点でケアマネからそういった声は届いていない。今後も、連絡会などでケアマネとの連携を図り、丁寧に対応する。

問) 介護施設利用者への食費・住居費への補助(補給給付)の縮小をどのように考えるのか。

部長) 一定の収入と試算の条件を付けて、余裕のある方については補給給付を行わない、ということ。

*国が介護保険制度を改悪した中で、市民のくらしを支えることが自治体に問われている。

《学校施設改善、特別教室にエアコン設置を》

問) 東京都が2018年度までを期限として、全ての特別教室におけるエアコン設置に対して補助を拡大した。この機を捉えて設置すべき。

市長) 補助制度もよく検討して、できるだけ前向きに検討したい。

《学校施設改善、トイレの改修について》

問) 今年6小におけるトイレ改修工事の入札が不調によって来年に延期になった。二度と不調を繰り返さないように。

部長) 適切な積算に基づいた結果不調になった。あくまでも事業者の問題だと思う。

*来年には6つの小学校でトイレ改修が行われる予定。不調にならないようにできる限りの努力を

他に、国立駅北口駐輪場の廃止について質問。

第3回定例会陳情の審議結果

《継続となった陳情》

陳情第27-1号 「日本遺産」認定を求めるための整備を求める陳情

陳情第27-4号 戦争につながる安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書採択についての陳情

陳情第27-5号 国分寺市の硬式少年野球選手の育成のための練習グラウンド環境改善の陳情

陳情第27-6号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第27-8号 人工鼻等を日常生活用具給付に追加することに関する陳情

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成27年第4回定例会(11月26日開会予定)からの審議を希望する方は、11月6日(金)までに議会事務局へ持参してください。

浅川清流環境組合議会議員を選出

日野市・小金井市と三市共同でごみ処理施設を設置・運営等するための一部事務組合「浅川清流環境組合」が7月1日に設立されたので、組合議会議員として本市議会から下記の4名の議員を選出しました。

幸野 おさむ 議員、木村 徳 議員、本橋 たくみ 議員、さの 久美子 議員

思想信条の違いを超えて、 戦争法に反対を



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野◆安全保障関連法案(戦争法案)の廃案をめざして◆憲法学者、元内閣法制局長官、元最高裁長官など法に携わる方々の大半が憲法違反だとしている。国分寺市としても看過できない問題だ。法案を撤回するよう国に求めるべき

市長この法案は本当に憲法と微妙な立場にある。私がこの場で意見を述べることは控えたい

幸野憲法という物差しで判断が出来なければ市長としての資質が問われることになる。この法案は核兵器も運べるとのことであり、非核平和都市宣言をしている市として相いれない。

市長そのことについては今初めて聞いた。見解を持ち合わせていないので控えたい。

幸野◆駅前再開発行政から決別すべき◆国分寺駅北口再開発によって、市の財政は多摩26市で土木費は1位、民生費(福祉や子育て等)はワーストクラス、基金(貯金)も最下位に。今度は西国分寺駅北口の再開発が浮上している。これ以上、さらなる再開発はやめるべき

部長都市マスタープランの中で一定の手法は示された。ただ、規模や内容は全くの白紙だ。

幸野◆再開発よりもバリアフリーのまちづくりを◆西国分寺駅の東口開設や恋ヶ窪駅の東口開設、ぶんバスの拡充、道路の安全対策など市全域にバリアフリーを進めるためにバリアフリーの基本構想を策定すべき。

部長平成19年策定の国分寺駅周辺まちづくり構想に記載したが、現在取り組んでいない。

幸野◆国分寺駅周辺の駐輪場増設を◆

副市長費用をかけない方向で検討している。

国による社会保障削減路線から 市民を守れ



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

<問題山積のマイナンバー制度は延期を>

岡部：マイナンバー制度において個人情報の流出や不正使用を防ぐ対策は万全なのか。

政策部長：大変重要で有効なシステムであり、必要かつ早く導入が必要。

一般会計決算議案に対する討論の要旨

10月1日の本会議で平成26年度一般会計決算議案に対する表決に先だち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論の順番で掲載しています。

討論

市政運営に更なる期待、 抜本的な改革断行を



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ(所属7名・賛成)

平成26年度決算については、井澤市長が就任されての初めての予算編成、予算執行の年でありました。仕事のやり方を一からやり直し、市民目線にたった市政運営をするために、予算をゼロベース部局積み上げ方式で編成し、市民にとって必要な事業を先送りしないという姿勢は

岡部：個人は(個人番号を)他人に不正に盗み見られたりすることのないように厳重に管理する必要が生じる。大きな負担ではないか。

政策部長：個人ナンバーが悪用される可能性は低い。(しかし、詳しい根拠は示さず。)

岡部：制度実施の延期を国に求めていくべきだ。また、現場を担う自治体が問題や課題を把握して国に伝えることが必要だ。

<保育、子育て支援の充実を>

岡部：子ども子育て支援新制度によって、保育の利用者負担は(保育園の判断で)上乗せ徴収や実費徴収も制度上は可能とされている。市として民間の園の意向を把握し今後の保育施策に生かしていく必要がある。

子ども家庭部長：それぞれの園が独自性を出すために実費徴収を行なうことも考えられる。保護者の選択が広がることも考えられる。

岡部：むしろ負担できる額、家計の状況に応じて受ける保育も決まってくる、選択をせざるを得ないように新制度によって変えられようとしている。

この他、子ども家庭部長からは、「子育て世代包括支援センター」の開設に向けて努力していくこと、親子ひろばの常設の拠点を3ヵ所設けることについて答弁がありました。

国立市の国立駅北口前 改造図面に異論を申せ



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐 先月までの国立駅北口広場整備計画では、送り迎えの停車ができるスペースが2、3台分しかない為、国立市と協議を求めました。その後、国立市は交通管理者である警察と協議、指導され、逆にその停車スペースは全く無くなってしまった。一体、どこに停車すべきか？**都市建設部長** 一般車両の特定した停車スペースは計画してないという事で、各自が安全な場所に、例えば駅前にタクシー乗り場等ができ、その前後は可能かと思われる。

甲斐 タクシープールに入るための道路に縦列停車してもよいのでしょうか？タクシープールだって6台分しかないのに、タクシープールへの誘導する道路は入口は幅狭であるから、結局、横断歩道前へ停車することになるのか？横断歩道前の停車によって市民が人身事故に遭った教訓を生かさなくては人命が脅かされる。改めて国立市と協議を越えた交渉にあたるべき。

国立駅北口駐輪場 所有者による民間運営を願うにあたって、同料金で長期安定的な運営をお願いしていただきたい。

国立駅西口が開設計画 高架下の国立市駐輪場は1,600円/月。国分寺市民にも広報すべき。『阿久根市の50才になって運動会に帰ってきて』という事業は現在小学生である児童も含め、故郷感を醸成する。ふるさと納税は商品合戦になっているが本来の趣旨はそのような取組からだ。当市のふるさと納税のペンシルロケットは高値だ。**政策部長** 各パーツ、全て市内業者に限定し発注、1,000個という少数の条件悪による。

将来を見据え 早急な人事体制の立て直しを！



国分寺政策市民フォーラム 木村 徳

木村 来年度末には管理職の大量定年退職を迎えるが、人材の育成が遅々として進まず、民間も業績回復基調で人材を求めるのは難しい。そこで、都から一般事務職を受け入れてはどうか。**総務部長** 都職員は優秀な人材が多く、それらの経験・知識・仕事のノウハウを国分寺市に活かせるメリットがあり、検討したい。

市長 都や国の仕事を学びながら、レベルアップを図っていくことが必要だと思っている。

木村 新規職員の採用についても、今年は試験日の前倒しで、他市の試験日と重なったがそれでも国分寺市を選択した受験者は大変期待できる。今後も試験に当たっては攻めの姿勢を。

総務部長 同感である。今後、1人でもいい人材が国分寺市を受験してくれる日程を組みたい。

木村 加えて、有能な嘱託職員の、正規職員への登用や議会傍聴研修を復活し、議会を生で実感し、今後に生かす取り組みもお願いしたい。

総務部長 嘱託職員には非常によくやってもらっている。どのような形がとれるか考える。議会傍聴も非常にメリットがあると認識している。

木村 個人情報も多数ある職員のPC内のデータの保存等のルールがない。早急な対応を。

政策部長 現状を調査の上、早々に改善を図る。

木村 市内には各界で世界的に活躍されている人材が多く、名誉市民や市の親善大使に任命し、市の魅力を発信してもらってはどうか。

市長 市内の著名人やJAXAの方にPRしてもらえたらいろんな意味で国分寺市をアピールできると思う。まずはそのための制度を作る。

大いに評価するものである。内容をみると、実質収支で8億円の黒字ということで、これまでの行財政改革の成果が出てきていることを評価する。また経常収支比率が93.7%ということで前年度より改善している。また一般家計に例えると普通預金に当たる、財政調整基金への積み増し、いわゆる借金にあたる公債費比率も前年度からみるとマイナス1.4パーセントということで財政的な数字も改善してきている。景気の動向をみてもアベノミクスの効果もあり、市税の歳入が増加傾向にあり、国の経済政策を評価するものである。しかしながら、今後の市財政を考えると、少子高齢化による、介護費や医療費の増加に伴う扶助費の増加が毎年みられるこ

とから、更なる経常経費の抑制を考えなければならない。また市役所や学校施設、公民館、スポーツ施設など市の公共施設が老朽化してきており、これから大規模修繕や建て替え等、財政的にも計画的に考えていかなければならない。また26年度決算の監査報告の中でも指摘のある、分割発注や予算流用などこれから更に改革していかなければならない点もある。26年度は市制施行50周年の年でもあり、今後のさらなる飛躍に向けて井澤市長に期待し、市民サービスの向上住民福祉の向上に尽力されることをお願いいたします。

討論

旧体制以来の法令違反事務は抜本的改革を！



国分寺政策市民フォーラム 木村 徳 (所属6名 賛成1・反対4・退席1)

会派として、議会は行政に対するチェック機関であるとの視点から決算審査に臨んだ。その結果4点の法令に抵触した事務執行が明らかになった。①課長決済のみで可能な主管課契約は、上限額が契約事務規則で定められているにも関わらず、主管課契約できるように見せかけて分割発注を行っていた。②予算の流用は、出納整理期間（翌年度の4～5月）中にはできないと自治法で定められているが、書類上だけ3月31日の処理として、4月以降に流用を行っている法令違反があった。③年度途中における歳出科目の新設が、予算事務規則上できないにも関わらず行われていた。④予算科目は款・項・目・節と分類され、款や項をまたいでの流用は、一部を除き自治法が禁じているが、教育費に関わり項をまたいでの支出を行っていた。以上の法令違反に加え、厳しい財政状況にも関わらず障害者センターが3年間で9000万円も内部留保していたことも明らかになり、市予算の算定根拠が揺らぎかねない問題である。一方、26年度は赤字地方債である臨時財政対策債を発行したが、その後の財政改革で、27年度にはこの地方債を借りず、むしろ基金を積み増すに至った成果は評価する。26年度は井澤市政の下で初めてゼロベースで編成された予算ではあったが、過去の市の人事体制の下での悪影響が色濃く残っており、明らかに問題があるとの会派の共通認識の上で、26年度決算は違法事務に対する厳しい戒めとしての反対、人心一新のもとで二度と同様な違反がないことを期待し27年度以降への応援としての賛成、双方の要素を踏まえた上での退席と、各議員の判断に委ねることとする。

討論

真摯な姿勢で臨んだ財政状況の改善を評価



公明党 高橋 りょう子 (所属4名・賛成)

平成26年度決算は、これまでの枠配分方式を廃止しゼロベース部局積み上げ予算方式での成果が問われた決算でもあった。分割発注や規則の不備など一部改善すべき点も見えたが概ね前進できたものと評価する。財政運営では、積み増しによって財政調整基金残高が25億円に達した事を大きく評価したい。又、臨時財政対策債の借入は「可燃ごみ共同処理建設費負担金」、「街路照明灯LED化事業」、災害時の避難場所ともなる「小学校屋内運動場天井脱落対策事業」等々、市民生活に重要な事業を先送りせず執行したことを踏まえれば、26年度は止むを得ない判断であったと理解する。しかし今後は、臨時財政対策債の制度上の問題や将来への財政負担も含め慎重に考えるべきである。又、本決算で一部必ずしも適切とは言えない事務処理があった。特に年度末日の事務処理は、切れ目のない市政運営に於いて止むを得ない場合もある。しかし、今後はその流用が法令・規則に基づいているか十分な検討と慎重な判断を求めたい。25年度の指摘を受け、市民の協力とで成し得たごみの減量、電子計算事務経費のチェック体

制強化、健康診断の40歳個別勧奨事業開始による受診率アップと子育て世代への受診推進努力、地域バス新規ルート開設試験運行等、成果の上がっている事業は進行管理が軌道に乗っていると評価する。最後に市長就任以来「一つ先の仕事を」と鼓舞して来られ、職員の迅速かつ意欲的に取り組む姿勢に市民からも評価の声を聞く。今後も井澤市長を中心に市民の信頼に応え、責任ある行政運営と厳正かつ適正な事務執行に全力で頑張って頂くよう期待し賛成とする。

討論

大型開発優先から市民のくらしを守る市政に



日本共産党国分寺市議団 中山 暁 (所属3名・反対)

大型開発優先の市政が浮き彫りになった。西国分寺駅北口再開発について、地権者中心のまちづくり協議会で、市はコンサルとともに、市街地再開発によるまちづくりを進める姿勢が明らかになった。

市街地再開発では、国分寺駅北口に473億円を超える莫大な市の予算が投入されている。その一方で、市民に対しては、お金がないという理由で、高校生への奨学金支給制度や高齢者入浴事業の廃止など、市民のくらしを支えてきた制度を次々と廃止・縮小してきた。大型開発優先から、市民のくらしを支える市政への転換を求め。

国分寺駅北側における自転車駐輪場確保については、国分寺駅北口再開発で、駐輪場の閉鎖によって不足状態になっている。市の不作為によって駐輪場が不足していることであり、市には鉄道事業者や周辺自治体にも負担を求めるなどあらゆる手段、全力での駐輪場確保を求め。

国民健康保険税の値上げについては、平成26年度に大幅な値上げが行われた。しかし、国保会計の赤字は、市が違法な会計操作で生み出していた。にもかかわらず、国保会計の赤字を理由に国保税の値上げが強行された。このような国保加入者への負担押し付けの値上げは決して認められない。

国分寺まつりについて、誤った答弁と偏った市の実行委員会への関わりから、結果的に特定の団体のみが国分寺まつりに参加できない現状について、市には是正するためのでき得る最大限の努力を求め。そして、実行委員会の説明責任については市としても求めるべき。

いよいよ映像配信が始まります



市議会では、現在実施中の音声配信に加え映像配信の実施を検討してきましたが、平成27年第4回定例会から本会議の様子をライブ中継及び録画配信することになりました。

市議会ホームページからご覧になれます。ぜひご活用ください。

なお、平成27年9月1日から7日に行われた第3回定例会における一般質問の様子は、今まで同様、市議会のホームページで音声配信しています。

今後も市民の皆様との情報共有を進めるためさらに努力してまいります。

討論

監査委員の指摘は重い適切な事務執行を！



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる (所属3名・反対)

生活者ネットワークでは、年々増え続ける扶助費をはじめ、老朽化した公共施設マネジメント、インフラ整備、清掃施設整備や国分寺駅北口再開発事業など今後も多額な支出が避けられないことから、長期的な視点に立った財政運営を行い、減少し続ける基金を計画的に積み増すことを求めてきた。平成26年度決算では、歳入の根幹である市税収入は、個人均等割りの税率の引き上げに伴う個人市民税や調定額が上位の企業を中心とした収益の伸びに伴う法人市民税などの増収により、前年度に比べ伸びてはいるものの依然厳しい状況に変わりはない。また、借金をしてでも今やらなければならない事業を明確にした上で、4億3千万円の臨時財政対策債の借入れを行ったが、それを超える9億3千万円の基金を積み増せたことは評価する。一方で、障害者センター（指定管理者が管理運営）において、単年度で1400万円、平成24年度以降3年間の合計では9千万円を超える内部留保が判明した。市の障がい福祉の拠点であるからこそ、市として、指定管理者に求める必要な事業を再検討し、そもそも指定管理料の積算が適切であったかどうか等検証すべきだ。さらに、監査委員から、複数課に対し、財務会計上の執行や契約事項について適正な事務執行に努めるよう毎年度指摘されているにも関わらず、一向に改善されない。これまでも「職員研修を実施し徹底する」との答弁が繰り返されてきたが、加えて、ミスが発生した場合に、課内、部内で連携し解決する体制を早急に構築し、次年度こそ同様の指摘を受けることのないよう、緊張感をもって適正な事務執行を進めることを求め反対とする。

討論

指定管理化において改善を求め、不認定



無会派（無所属） 甲斐 よしと (反対)

監査委員より昨年からの指摘事項が改善されていない事は大変、遺憾である。

特筆すべき点を挙げれば、委員会でも議論させていただいたが、障害者センター管理運営に要する経費の点で、市が公募によらない指定管理、運営を担ってもらっている法人が3ヶ年で9,000万以上の内部留保を蓄えている事は大いに疑問だ。当該年、市は財政調整基金という赤字補てん債を借りるに至っているのに、受け手である団体は内部留保を着々としていることは矛盾だ。この件は市の指定管理化が目的化しており、進行管理も執行管理もできていない。

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成27年第4回定例会は、11月26日（木）から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひこの機会に多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

第3回定例会議案審議結果

第3回定例会には新規30件の議案が提出され、承認2件、同意4件、可決16件、認定7件、不認定1件となりました。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Contains 30 rows of legislative proposals and their outcomes.

議案に対する議員の表決状況（賛否の分かれたもの・退席があったもの・賛成者なしのもの）

Table with 10 columns: 議案名, 会派名 (including 自民党, 政策市民, 公明党, etc.), and 議員名 (listing individual council members like 吉田, 尾作, etc.).

・表決 (○=賛成 ×=反対 退=退席 ◎=可否同数により議長裁決)
・会派名 [政策市民フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、無=無会派(無所属)]